

ふきの芽

第283号

【発行日】

令和2年

9月25日

【発行者】

八俣ふきの芽会

茨城県古河市

山田 317-3

Tel 090 2234 6965

Fax 0280-78-2429

コロナも雨も吹き飛ばせと笑顔、笑顔の運動会
9月26日、八俣小学校で「令和2年度 八俣オリンピック2020」が小雨の中開かれた。コロナ禍の中での開催とあって午前中2回に分けて行われたが、児童の弾ける笑顔が会場に溢れていた。



白い花をいっぱい に纏った仙人草

9月13日、福原行政区内の雑木林に真っ白な花をいっぱいにつけたセンニンソウが咲いていた 写真上

いつもは、見過ごす藪の中でハッとするよ

うな美しい花に出会う事がある。今回も思わず足を止めて魅入ってしまった。センニンソウはつる性の多年草で、無毛の茎は勢よく長く伸びる。他のものからみよじ登る。花は盛夏から初秋にかけて円錐花序に片4枚の白い花を多数つける。しかし茎や葉の切断面から出る汁や濡れた花粉に触れると炎症を起す有毒植物だ。花の名前は花の後に果実より伸びた銀白色の長毛が密生した様子を、仙人のひげに例えたことに由来している。



八俣オリンピック2020



乗車式エンジン芝刈り機を19地区 区長会が八俣小学校に寄贈

区長会では、定期的に行っている廃品回収で得た収益金を原資に、この度、エンジン芝刈り機を購入し八俣小学校に寄贈した。グラウンドの芝生の手入れに大きな労力を要していた小学校では、これで楽しく芝刈りが出来ると大喜び。9月26日の運動会で披露された。写真下



秋の訪れを告げるロール ベールラップサイロ造り

秋の訪れと共に畑のあちらこちらに白い円筒が置かれている。これは、牧畜用飼料として牧草や飼料用トウモロコシを長期間保存するためのロールベールである。近年、タワ型サイロに替わり飼料の保管手段として、主流になってきているものだ。赤松行政区の「荻野牧場」さんでも5年程前から導入し、すっかり秋の風物詩として認識されるようになった。大型ベラー(写真左)で刈り取られた飼料用トウモロコシは圧縮し丸く円筒状に整形され、発酵用乳酸菌を混入した後、白いポリエチレンでラップされる。一ヶ月程で発酵し、その後長期間の保存が可能となる。荻野牧場さんでは、今年千二百個のロールベールを作る予定。

ラップ巻きもリモコンで自動で行われる↑



大型ベラーで一気に刈り取り粉碎する！

クリーンアイ

一枚の写真(2) 風見 喜代次
落雷を目の当たりに見ていたのが八俣小学校の校門である。写真には写っていないが現在の校門は赤い煉瓦で出来ており昭和22年5月に作られたもので昭和18年5月に赤松にあった校舎と共に移築された。

当時から残っているのは校門だけではないでしょうか。現在の校舎竣工に伴い旧校舎は昭和53年8月と10月にそれぞれ解体されたが、時代の流れとはいえず、子供時代の思い出がたくさん詰まった宝箱を失ったように一抹の寂しさを覚える。(解体された旧校舎の一教室分の骨材は、その後、小立野第二行政区公民館に移築され現在も立派に役割を担っている)でも、63年過ぎた今、八俣公民館(昭和52年解体)で入学式、卒業式、学芸会、茶話会などの行事そして春期遠足、東山田公園で行われた小、中合同秋期大運動会などが脳裏に鮮明に残っている。先生には誰もがよく怒られた、ビンタやゲンコツなどもよく貰った時代である。そのことを家に帰って親に言う子供はいなかったやたらにゲンコツなどしない。怒られるようなことをしたお前が悪い。の一言で終わってしまうからである。お巡りさん先生、父ちゃんは怖くて、口答えなど出ない時代ではなかった。大人を敬う、大人には従うという気持ちが無意識のうちには働いていたのかもしれない。入学当初から1月1日には拝賀式が行われた。校長先生の新年のお言葉のあと紅白のお菓子を頂いて帰るのだが、飴や菓子など簡単に手に入る時代ではなかった。7歳の子供からすれば楽しい登校日であった。昭和31年に完全給食が始まりコッペパンやミルクそしてPTAのお母さん達が毎日作ってくれた副食を食べた遠しかったのを覚えている。あの頃は、テレビもない、電話もない冷蔵庫も自家用車も何もないが、朝食も夕食も家族全員で食卓を囲むのが当然の光景であった。八俣村の風景は自然豊かで、家は生け垣で囲われ、裏は櫛や杉の立木がそびえていた。今は、林は伐採され生け垣はブロック塀に変貌した。木登りや西仁連川で泳いだり、毎日自然の中で遊んだ。学年の隔たりに関係なく集団で遊んだ時代が懐かしい。代を思い出させてくれた。



花好きとして知る人ぞ知る、小立野行政区の鹿久保初江さんを訪ねた。最近、左腕を骨折したそうので包帯姿であったが元気な様子で安心をした。写真左 9月13日 「ちょうどブーゲンビレアがきれいに咲いているから見ていきな」と庭先に案内してくれた。



沖繩など南方の花として懐かしい響きを持つこの花は先端の葉の部分が真っ赤に色つき綺麗な花と勘違いするが、本当は真ん中の筒状のものが花である。5年程前に下の妻の園芸店で買い求め、現在では写真のように大きく成長。ツル性で挿し木が出来るので、庭や畑でも咲いていた。寒さに弱いので冬季はハウスなどに移す必要がある。和名「イカダカズラ」ブーゲンビレアの花名は南米で初めてこの花を発見した人の名前からきている。

ブーゲンビレアが真っ赤な花々を、枝いっぱい咲かせていた



活粋やまた

コロナ禍でも稽古は怠らず 古河舞踊教室の皆さん

新型コロナウイルスの影響で全てのイベントや発表会が中止や延期という前代未聞の事態の最中、日本舞踊を通して礼儀作法や日本人の心を学ぶ場として大勢の人達が、変わらず古河舞踊教室で指導を受けている。手指の消毒、体温検査は勿論、換気の為に多くの扇風機を設置して万全の備えでお稽古に臨んでいる。人数も一回に3人までとし、3密を避ける徹底ぶりである。それでも稽古に参加している子ども達も、和服でのお稽古や作法の習得はとても楽しいと話す。大人の方々は現在は、朝ドラで注目の「船頭可憐い」や「先生」の振り付けでチャレンジしている。発表会が出来るようになるのが待ち遠しいと異口同音に訴える。



皆さんの表情に、コロナには負けないという強い意志が感じられた。写真上下：9月19日撮影



「目指せ大坂なおみ！」とばかり 青空の下練習に汗を流す

テニスの4大会・全米オープンで2年ぶり2度目の優勝を

コロナ禍の中での練習とあって、スタッフも万全の対策で臨む！

飾った「大坂なおみ選手」が世界中で話題となっている最中、改善センターのテニスコートで古河市体育協会ソフトテニス・スポーツ少年団の皆さんが練習に励んでいます。同団体には現在、小、中学生約70人が所属しており、練習の拠点が改善センターのテニスコートとあって、八俣小や三和中の児童や生徒が大勢参加している。毎、日曜日が練習日となっており、午前中は小学生、午後からは中学生が練習を行っている。写真上は9月20日の午前中に撮影したもので、小学生の練習風景である。

随時 体験入部可能
ソフトテニススポーツ少年団に関する詳細及びお問い合わせは

団長 中川 重弘
電話 090 5563 1371

までよろしくお願ひします

区長会 廃品(資源ゴミ)回収のお知らせ

日頃より第19地区、区長会運営に関してご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、下記の通り第19地区、区長会主催の廃品回収(資源ゴミ)を実施いたします。皆様のご協力をお願いします。

記
日 時 令和2年11月1日(日) 午前9時から
回収場所 八俣小学校校庭(各行政区でとりまとめて搬入)
回収するもの ダンボール・新聞紙・雑誌・カタログ
アルミ缶・スチール缶(分別ナシで可)
第19地区 地区長 湯本 豊
八俣小学校 校長 沼田 博

ひばりくん防犯メール 【ニセ電話詐欺等情報】



- 本年8月20日から9月18日までの30日間に、県南地域で11件(被害総額約1,490万円)のニセ電話詐欺が発生しました。
 - うち8件が、警察官や銀行員、金融庁職員などを装い、キャッシュカードを別のカードとすり替えて盗む手口でした。
 - 絶対、他人に『暗証番号は教えない』『キャッシュカードは渡さない』
 - 犯人は丁寧な口調で電話を架けてきます。見破ることは難しいです。犯人からの電話を受けないために、自宅電話機は『在宅中も留守番電話設定』にしましょう。
- 不審な電話が架かってきたら、最寄りの警察署若しくは警察相談専用電話「#9110」にご相談ください。

◆9月22日午後7時頃、古河市諸川1844番地1先の公園において、下半身を露出した男が目撃されました。スマートフォンで露出した下半身を照らして「これどう」と公園にいた女性に声を掛け、徒歩にて逃走しました。
変質者を見かけた時は、すぐに近くの民家やお店に駆け込み、110番通報をお願いします。
古河警察署【0280-30-0110】



八俣オリンピックピック 2020

